

宇治市未来につなぐ都市づくりプランのまちづくりオープンハウスの開催結果

| | 開催日 | 開催地域 | 会場 | 参加者数 |
|---------------------|---------------|--------|---------------|------|
| 【まちづくりオープンハウス】 | | | | |
| ① | 令和5年12月20日(水) | 大久保 | 南宇治コミュニティセンター | 18人 |
| ② | 令和5年12月22日(金) | 六地蔵 | 六地蔵公会堂 | 5人 |
| ③ | 令和6年1月6日(土) | 宇治・小倉 | コーナンJ R宇治駅北店 | 70人 |
| ④ | 令和6年1月13日(土) | 黄檗(宇治) | アル・プラザ宇治東 | 84人 |
| 市内4会場にて各日11時～16時に開催 | | | | 延べ |
| 178人 | | | | |
| 【プランの周知】 | | | | |
| ⑤ | 令和6年1月6日(土) | 小倉 | スーパーマツモト宇治小倉店 | 60人 |

※③、④については、宇治市景観計画(素案)の景観オープンハウスと同時開催しました。

【開催状況】

①南宇治コミュニティセンター



②六地蔵公会堂



③コーナンJ R宇治駅北店 (1)



③コーナンJ R宇治駅北店 (2)



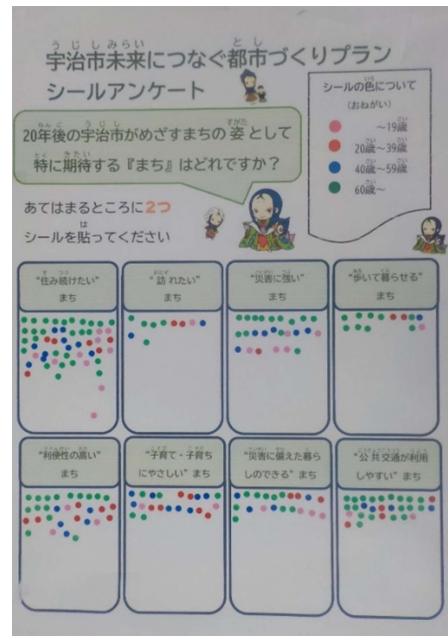
④アル・プラザ宇治東 (1)



④アル・プラザ宇治東 (2)

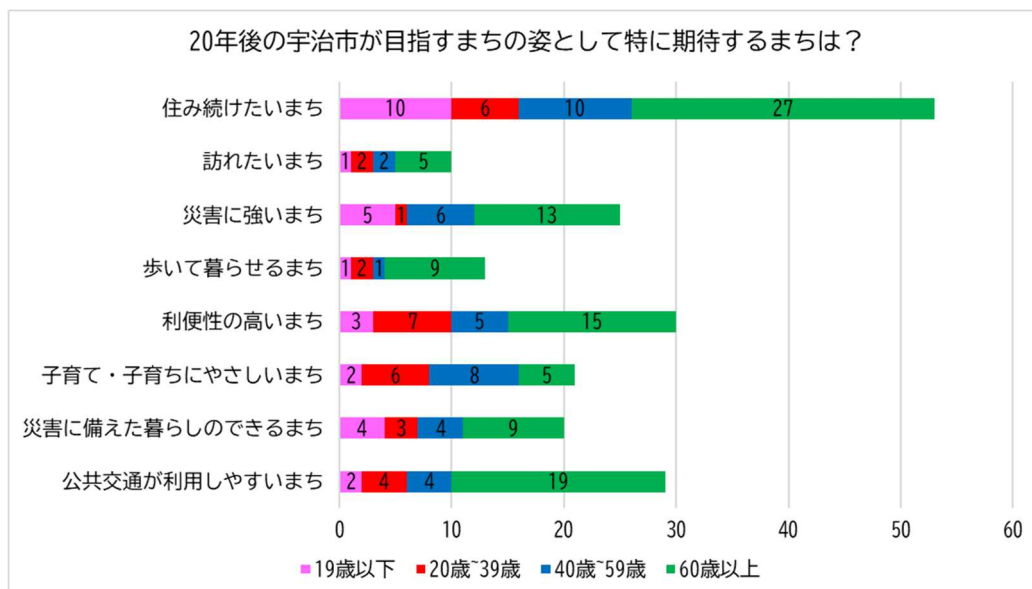


⑤スーパーマツモト宇治小倉店



【アンケート結果】

20年後の宇治市が目指すまちの姿として、「住み続けたいまち」、「利便性の高いまち」、「公共交通が利用しやすいまち」を期待する声が多くありました。



【ご意見（まとめ）】

- ① 人口減少が進展している中で、必要なプランとのご意見があった
- ② 子どもたちが暮らしやすい、子育てのしやすいまちづくりを望む意見が複数名からあった
- ③ 近鉄小倉駅周辺のまちづくりに期待する声が多くあった
- ④ 公共交通の現状認識に関する意見があった
- ⑤⑥ 公民館のあり方に関する意見があった
- ⑦ 誘導という言葉については違和感があるという意見
- ⑧ 誘導施設の定義を分かりやすくした方が良いという意見

・シールアンケートの結果からは、20年後の宇治市が目指す姿として、「住み続けたいまち」、「利便性が高いまち」、「公共交通が利用しやすいまち」を期待する声が多くあった。

【内 容 (抜粋)】： 市の考え

- ① 人口減少は、全国的に進んでいるので、住む場所を絞り込むのは必要な考え方だと思う。プランの趣旨は分かりやすく納得できるし、賛成する。

本プランは、都市計画マスタープランに即して策定するとともに、関連する分野の計画や施策と連携しながら、持続可能な都市の構築とまちの将来像の実現をめざします。

- ② 価値観の変化や環境の変化がある中でも、子どもが増えるよう、子育てのしやすいまちにすることが重要だと思う。宇治市は京都市などに行くのが便利で、身近に自然もあり暮らしやすい。これからのまちづくりを考えると、子供たちが、宇治のまちで様々な体験や経験ができるまちにしてほしい。

今のまちの良さを活かしながら、宇治で生まれ育った人が、将来宇治に戻ってきたい、宇治市に愛着を持ってもらえるよう、様々な施策を絡めながら、持続可能な都市の構築とまちの将来像の実現をめざします。

- ③ 近鉄小倉駅周辺のまちづくりに期待している。近鉄小倉駅周辺の整備を早く進めてほしい。小倉のまちににぎわいが戻ってくることを願っている。

近鉄小倉駅周辺地区においては、関連計画である「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想」に基づき検討を進めており、まちの良さを活かした、新たな魅力をもった拠点を目指します。

- ④ 鉄道駅が 14 駅あるのは事実だが、住んでいる地域や高齢化により移動が困難な人もおり現状として、「公共交通ネットワークが充足しており」という文言は実態とは異なるのではないかと思う。

現状認識としては、市民の皆様をはじめ関係者のご意見を伺い作成した「宇治市公共交通体系基本計画」における公共交通の現状を踏まえた内容で整理しています。市内には鉄道駅が 14 駅あり、人口の約 9 割が鉄道駅から 1km、バス停留所から 400m の範囲内に居住されており、鉄道を中心とした公共交通に恵まれた環境であることからそういった表現にしていますが、関連計画に合わせ丁寧な説明を追記します。

- ⑤ プランの中に「公民館」という表現がない。地域交流の拠点として、公民館をプランの中に入れてほしい。

宇治市では関連部署にてとりまとめております「市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像～」の中で、交流・活動の場づくり、地域のまちづくりの中核となる施設を目指す公共施設として位置づけております。また、本プランでは「公共施設の誘導施設の設定の考え方」にお示ししているとおり、各個別施設計画の整備方針に沿ってとりまとめており、誘導すべき施設として市が設置する地域住民の交流促進のための施設を「地域交流施設」として整理しております。頂いたご意見につきましては、関係部局と情報共有を図ります。

- ⑥ 各地域にある公民館を廃止しないでほしい。各地域において、多くの市民が交流を深め、社会教育の場であり、無料で利用できる公民館をなくさないでほしい。

宇治市では関連部署にてとりまとめております「市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像～」の中で「公共施設の更新にあわせて、施設の機能の集約化」を前提に「こどもから高齢者まで幅広い世代が集い学びを行う場」を1つの柱としています。また、「生涯学習審議会」での協議を踏まえ、「生涯学習のあり方」についても市教育委員会で検討しているところです。頂いたご意見につきましては、関係部署と情報共有を図ります。

- ⑦ 「誘導」という言葉に違和感がある。居住空間を「誘導」という表現はいかがなものか。

本プランの都市機能誘導区域や居住誘導区域などの名称については、国のガイドライン等に即して定めています。今後、土地取引をされる場合に、それらの区域について事業者等に確認いただく必要があり、誤解が生じないように全国的に統一されている名称を使用しています。ご意見を踏まえ一部の文言を分かりやすい表現に変更します。

- ⑧ 誘導施設の定義については、具体的な内容を分かりやすく示してほしい。

誘導施設の定義について、市民の方に分かりやすくお伝えするため、表現について整理します。